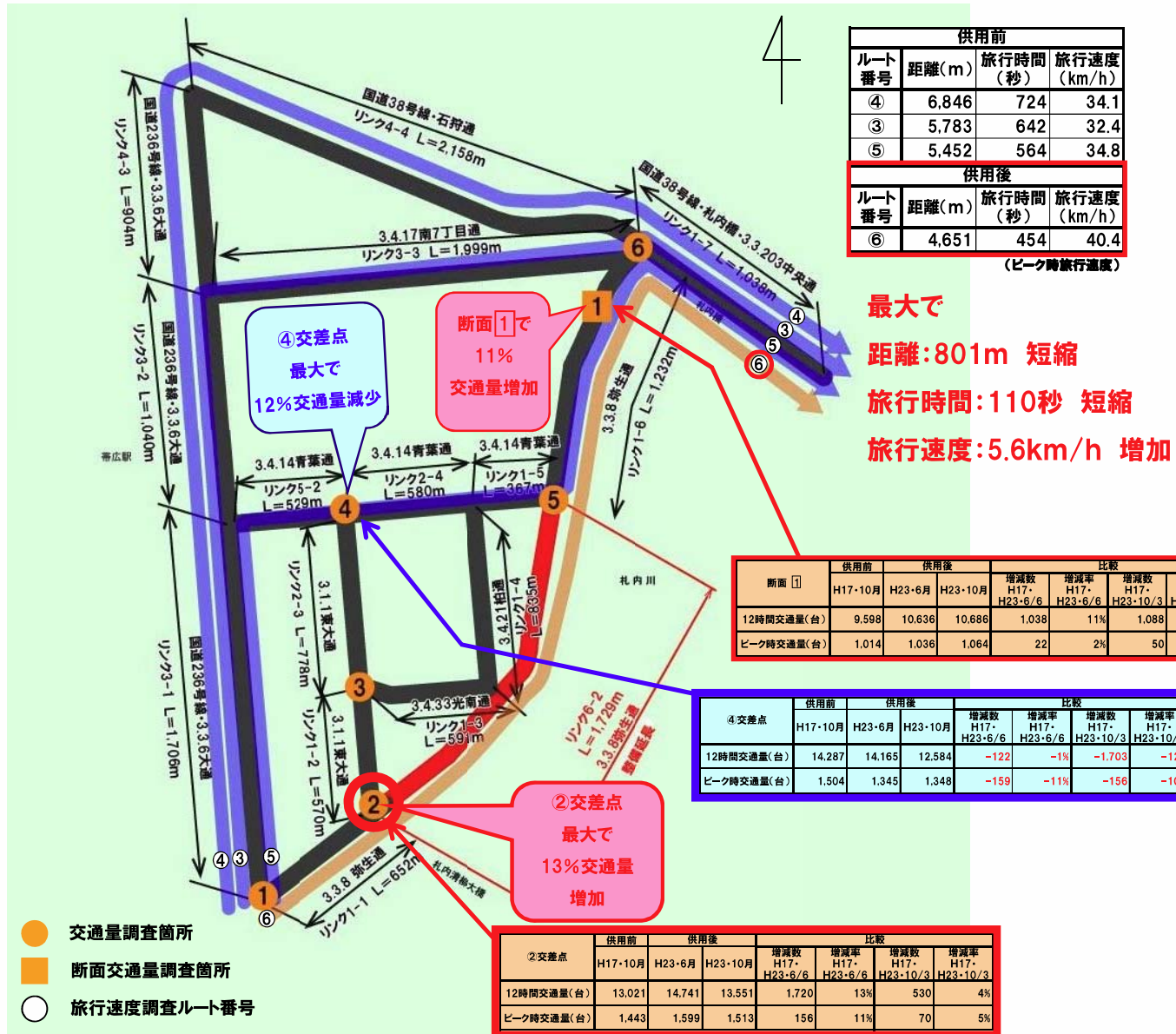
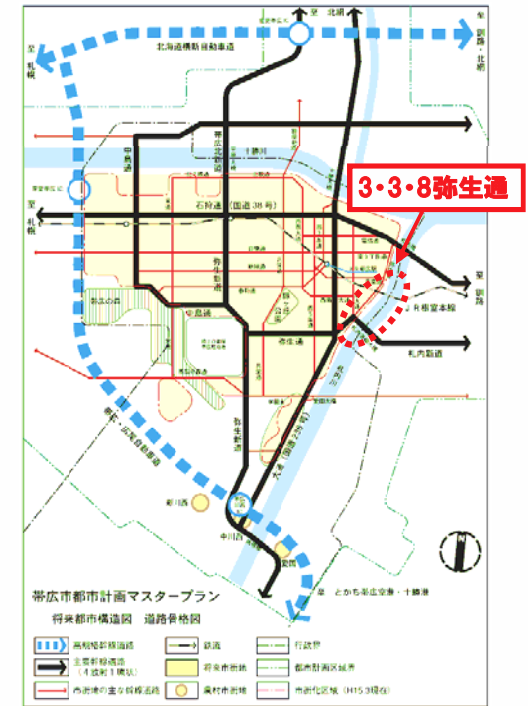


3・3・8 弥生通(2工区) 整備事業による整備効果

(1) 整備延長されたことにより、走行性が向上しました



●3・3・8 弥生通(2工区)の整備延長により、交通量が増加し、旅行速度も最大で5.6km/hの増加がみられ、自動車交通の走行性の向上が図られました。

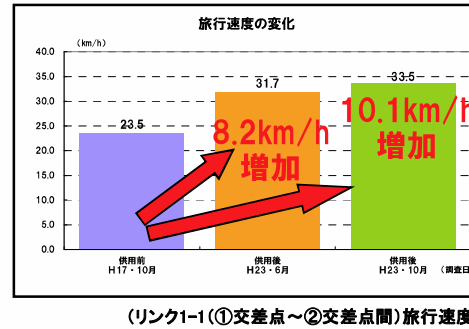
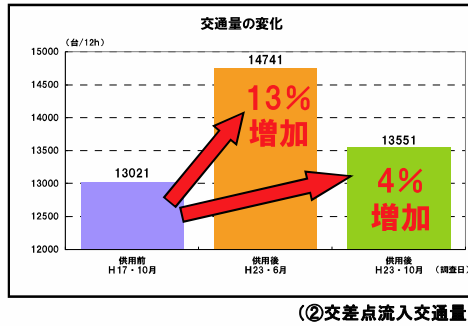


「帯広市都市計画マスタープラン」より抜粋

3・3・8 弥生通(2工区) 整備事業による整備効果

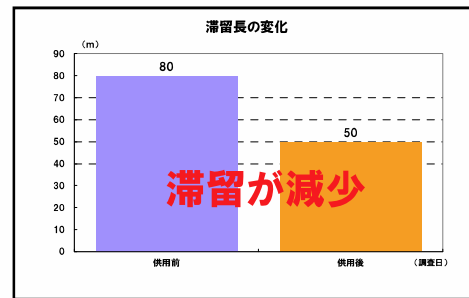
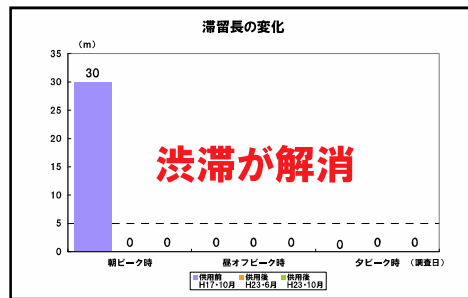
(2) 整備延長により走行時間が短縮され移動がより便利になりました

● 交通量と旅行速度の変化



●3・3・8 弥生通(2工区)の整備延長により、交通量の増加とともに旅行速度の増加も見られます。よって整備効果があったことがわかりました。

● 渋滞長と滞留長の変化



●3・3・8 弥生通(2工区)の整備延長により、整備前ではショートカットするための左折待ちの車が多く、滞留長が延伸したり、渋滞長が発生していたが、整備後では直進する車が増えた事で、渋滞が解消され滞留も減少されました。

●安全で快適な走行ルートが確保されました



●3・3・8 弥生通は国道38号線に繋がる幹線道路のため、地域住民のみならず帯広市外からの高速道路や空港利用者にも便利になり、更に周辺の観光地や商業施設の利用の増加にも繋がります。また、高架下では歩行者や自転車利用者にも安心して通行できるようになりました。

